

三條別院のご案内

三條別院に想う

三條別院の思い出として、一九七〇年に開催された大阪万博があります。七十七ヶ国参加のもと六ヶ月間で六千五百万人の入場者があつたと言われています。国民二人に一人が入場したことになります。当時高い関心の中開催された万博でした。

現在も会場の一部を万博記念公園で残され、当時万博のシンボルとして有名な、岡本太郎作の「太陽の塔」が保存されています。

当時は珍しさもあつて職場で見学する事になりましたが、宿が取れず困つているとき誰の発案か忘れましたが、京都に三條詰所があり越後から「お東さん」参り等に利用されていることを聞き、お願いしたら快く受け入れていただき、老夫婦？に大変お世話になりました。しかも二日間滞在し、充分満喫することができました。そのとき初めて三條別院の詰所であることを知りました。しかし別院の事や場所については、一九九九年本山で推進員研修を受け、三條の同朋会館での後期講習で始めて、その存在を知ることができました。別院とは何をするところか「三條教区ねつと」には教区管内(柏崎から村上、佐渡)の寺院五百ヶ寺と、門徒の念仏求道の中心道場であると記されています。真宗大谷派の三條別院

は一六九〇年この地に創立され、幾多の困難を乗り越えて、目的達成のために日夜努力され今日に至つていふことに、有り難く感謝いたします。別院は現在全国の教区に五十一、沖繩と海外開教区で四別院が教法の聞信・宣布の拠点としてあり、布教の取り組みには地方の特性に応じて教化に必要な業務を行い、同朋社会の実現することを目的とされています。

さて三條別院では寺と門徒の中心道場としていろいろな講座や法話等が催されていますが、遠く離れた所に住む者には参加が難しいと思います。本山(東本願寺)に行くことがあつても別院に行く機会が少ないと思います。特別の場合を除き門徒に案内が届いているのか？宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌後の宗務活動には別院の役割は大きいと思います。別院の存在を高めていただくよう、一門徒としてお願いします。

(第十二組慈光寺門徒 半藤 仙弥 氏)
○次回の「三條別院に想う」は、

菊地 彰二 氏(第十二組 光徳寺)より

ご執筆いただきます

■秋彼岸・人生講座が執り行われました

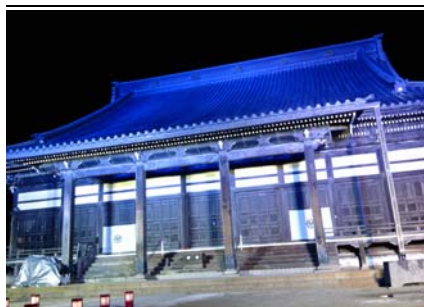
去る九月二十四日から二十六日まで、二昼夜に亘つて三條別院秋彼岸会・人生講座が執り行われました。晨朝のお勤めの後は八月に引き続き「朝の人生講座」が開催され、また日中・逮夜の彼岸会法要の後にも、教区内で活躍する講師による法話をいただきました。法話講師は、二十四日に渡邊学氏(第

二十三組明正寺)、中富正純氏(第二十三組福照寺)、二十五日に春日順一氏(第十四組西樂寺)、村山教二氏(元県立三條高校教諭)、二十六日に田澤一明氏(第十九組明誓寺)、藤波法英氏(教区駐在教導)でした。また、今回の秋彼岸は、二十四日の逮夜法要が教区御遠忌事業「帰敬式受式者の集い」と兼修になったために、音楽法要にて勤められました。今回は県内六カ所から合唱団が集い、本堂に讃仏の歌を響かせました。また、讃歌衆の皆様には、来るお取り越し報恩講にもご出仕を依頼しています。



【田澤氏による人生講座】

二十四日の夕方には、三條商工会議所主催で本堂のライトアップがなされ、本堂では世界で活躍中の演奏家によるオペラ「三條別院あかりコンサート」が行われ、多くの参詣がありました。地元の人々から「御坊(ごぼ)さま」と呼ばれてきた三條別院が、今後も多くの人々が集う念仏道場であり続けられるように、崇敬護持に努めたいと切に感じます。



【恒例となったライトアップ】

■秋の別院奉仕研修のご案内

秋の深まりとともに、お取り越し報恩講が近づいてまいりました。報恩講を迎えるにあたり、当別院では「秋の奉仕研修」を開催いたします。おみがき、清掃を中心にした奉仕研修です。是非ご参加ください。さいますよう宜しくお願いします。

◇日時 十月二十五日(火)

九時三十分受付 十時より

◇会場 三条別院・教区同朋会館

◇内容 ①仏具のおみがき②野外清掃(庭・境内の枯葉拾い・草取り等の作業等)③屋内清掃(本堂・書院・会館の掃除等)

◇締切 十月二十日(木)

◇参加費 無料(昼食は別院が用意いたします)お申し込みは別院までご連絡ください。

■お取り越し報恩講儀式作法講習会

教区内の多くの僧侶に報恩講に出仕いただくことを願い、本年より三条別院を会場に一回、新潟地区・長岡地区・柏崎地区・新潟北地区・佐渡地区と一年ごとに会所を変えて一回、計二回の講習会を開催します。本年の会所は柏崎地区となります(詳細は送付済みの案内参照)。

◇期 日 柏崎地区(第十組光圓寺)

十月十三日(木)

三条別院 十月十九日(水)

◇時 間 両会場ともに午後三時より

◇講 師 安藤 栄寿氏(第二組 勝樂寺)

◇講習内容 内陣における出退作法(講義・実技)、和讃本の扱い等

◇装 束 東 裳附・五条袈裟・差貫(切袴)

(報恩講当日に)着用のもの)

■報恩講に向け、女性僧侶習礼中

三条別院では今年度のお取り越し報恩講の準備が着々と進んでおります。十月に入りますと、儀式作法講習会や各習礼も行われますが、報恩講初速夜前に行われる音楽法要の習礼、合唱団の練習が一足先に行われています。特に音楽法要では女性僧侶が主力となる初の法要という事もあり、研鑽の場が多くほしいとの要望に応え、全六回の習礼を予定しております。中には「法要当日はどうしても出仕できないが、習礼だけでも」と参加される方もいらつしやう、皆さんの真剣な眼差し、熱のこもった発声、旧御堂に響き渡ります。なかなか女性の出席数が増えない中、これをご縁として出仕の機会を持つてほしいという願いから始まったもので、現在十六人が集っていただき、現在三回の習礼が終了しました。引き続き受け付けておりますので、是非、三条別院までご連絡下さい。

■御命日(二十八日)の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣



【10組専徳寺多田氏が指導中】

をお待ち申し上げております。

なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【十月二十八日(金)】

午前十時 お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

草間 朋哉 氏(第十二組 勝覺寺)

◇今後の講師一覧

十一月 未定

十二月 関根 正隆 氏(第三組 長徳寺)

■定例法話会のご案内

毎月十三日には、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、「両度の命日」についてお書きになられています(四帖目十二通)

三条別院の一番古い建造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日 時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

午後一時三十分より(約一時間程度)

◇場所 三条別院 旧御堂

◇御講師

十月〜十二月

風巻 和人 氏(第十組 祐光寺)

一月 休会
二月～四月

塚本 智光 氏(第十八組 等運寺)

※風巻・塚本両氏には、各々二ヶ月にわたつてご法話をいただきます。

■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきました三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇うことを通じて、ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となることを願い、奉仕研修会を開いてみませんか。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会をお申し込みいただく方(団体)へ、冥加金としまして左記のとおりお願いいたします。

◎冥加金

・日帰り 一、五〇〇円
・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注のため)

・朝食代 五〇〇円
・昼食代 一、〇〇〇円程度
・夕食代 一、三〇〇円程度

■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、同朋会館一階 事務所にございます宿泊者帳に記帳していただき、シー

ツクリーニング代としまして、五〇〇円いただいております。

また、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各ご門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。

ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院御影巡回がより多くの方々のお念仏をいただける場となるご縁となりますことを、願っております。

※曜日・時間等は昼夜問わず、皆様のお仕事の後などご相談させていただきます。

■三条別院有志の会について

九月十三日(火)、第十五組覺満寺溝口敏磨氏による定例法話の後に、有志の会にて「一日遅れのお月見会」を行いました。今年は十二日が満月だったようで、幹事は「惜しかったが、かえって風流だ」と笑顔でした。「月見には団子だ!」ということと、報恩講でもお世話になっている「むさしや」に急遽買い出しに行き、団子をつまみに加え、冥加はじまりました。普段はなかなか話さない私生活の話など、感情が表れて意外な一面が見えたりします。当然、仏教の話もします。まだまだ話し足りない(飲み足りない?)という面々で、本寺小路へと消えていきました。

このように、三条別院では「有志の会」と称し法話

や座談会(茶話会など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様

様によつて活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいませう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

◇◇編集後記◇◇

秋彼岸、秋の人生講座の忙しさも落ち着き、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の如く朝晩の気温が下がってきました。これから報恩講に向けて、バタバタと慌ただしくなっていくわけでありませう。

夏の間、車を運転しているとフロントガラスには小さな虫や、中には大きな蛾がぶつかり、油まみれになります。スピードを出さなければ、そこまで汚れる事もないのですが、やはりスピードを出してしまう。また、狸などの動物が車にはねられている姿に心痛めるのですが、先日、幼稚園の先生が子どもたちに「象のいのちと蟻のいのち、どちらが大事ですか。」と話しているのを耳にして恥ずかしながらドキツとしました。

いのちに大小はなく、皆、尊いと言葉では言っておきながら、自分の都合で、「小さないのちを殺しているのだな」と思う。だが、次の瞬間には忘れてまたいのちを奪う。そんな自分の都合に気付かされませんでした。(松浦)



【満月の下で】